

授業コード	1020312000
科目名	統計的思考の基礎
英語科目名	Introduction to Statistical Thinking
科目コード	12011AAB04
科目分類	教養教育科目
対象	全1、旧（C基教1）
授業開講年度	2025
曜日時限	火曜6限
履修期	前期授業
開講キャンパス	教室なし授業用（五橋）
単位	2単位
必修選択	
抽選対象	対象外
代表教員番号	0518723
教員名	神林 博史

科目ナンバリング	1C12
テーマ	統計情報を正しく読みとく
講義内容	私たちの生活の様々な場面で目にする「統計」や「データ」には、正しいものもあれば間違っただけのものもある。また、統計数値やデータが正しくても、その意味を間違えて理解・説明してしまうこともしばしばある。この講義では、統計やデータを正しく理解するための基礎を学ぶ。本講義はLMSを用いて、学生と対話しながら双方向的に進めていく。また、本講義はメディア授業科目としてオンデマンドにより実施する。この科目はMDASH科目の一部である。
達成目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 統計数値やグラフなどの情報を読み取り、その内容を正しく理解・説明する力を身につける。 2. 統計リテラシーおよび社会調査リテラシーの基礎知識を理解することができる。 3. 「証拠に基づく議論」の重要性を理解し、それを実践できるようになる。
授業計画	
第1回	<p>【事前学修】 テキスト序章をよく読んで、統計を学ぶ意味をまとめておく。</p> <p>【授業内容】 なぜ統計のことを勉強しなければならないの？</p> <p>【事後学修】 提示された復習課題を実施し、LMSを通じて提出する。課題の正解は次回授業時に解説する。テキスト序章末の練習問題を行う。</p>
第2回	<p>【事前学修】 テキスト第1章をよく読んで、メディア情報に接する際に注意すべきことをまとめておく。</p> <p>【授業内容】 知ってるつもりの世界と統計でみる世界</p> <p>【事後学修】 提示された復習課題を実施し、LMSを通じて提出する。課題の正解は次回授業時に解説する。テキスト第1章末の練習問題を行う。</p>
第3回	<p>【事前学修】 テキスト第2章をよく読んで、グラフの使い分け方をまとめておく。</p> <p>【授業内容】 「びっくりグラフ」にご用心</p> <p>【事後学修】 提示された復習課題を実施し、LMSを通じて提出する。課題の正解は次回授業時に解説する。テキスト第2章末の練習問題を行う。</p>
第4回	<p>【事前学修】 テキスト第3章をよく読んで、平均とパーセントの性質をまとめておく。</p> <p>【授業内容】 わかっているようで意外にわかってない「平均」と「パーセント」</p> <p>【事後学修】 提示された復習課題を実施し、LMSを通じて提出する。課題の正解は次回授業時に解説する。テキスト第3章末の練習問題を行う。</p>
第5回	<p>【事前学修】 テキスト第4章をよく読んで、代表値と分散・標準偏差の性質をまとめておく。</p> <p>【授業内容】 平均値だけで大丈夫？代表値とちらばりのこと</p> <p>【事後学修】 提示された復習課題を実施し、LMSを通じて提出する。課題の正解は次回授業時に解説する。テキスト第4章末の練習問題を行う。</p>
第6回	<p>【事前学修】 テキスト第5章をよく読んで、データ分析における「関係」の意味を整理しておく</p> <p>【授業内容】 「関係がある」ってどういうこと？</p> <p>【事後学修】 提示された復習課題を実施し、LMSを通じて提出する。課題の正解は次回授業時に解説する。テキスト第5章末の練習問題を行う。</p>
第7回	<p>【事前学修】 テキスト第6章をよく読んで、3つの変数の関係のパターンをまとめておく。</p> <p>【授業内容】 本当の原因を探してみよう</p> <p>【事後学修】 提示された復習課題を実施し、LMSを通じて提出する。課題の正解は次回授業時に解説する。テキスト第6章末の練習問題を行う。</p>

第8回	<p>【事前学修】テキスト第7章をよく読んで、統計データのチェックポイントをまとめておく。</p> <p>【授業内容】その統計は信頼できますか？データの6W4H</p> <p>【事後学修】提示された復習課題を実施し、LMSを通じて提出する。課題の正解は次回授業時に解説する。テキスト第7章末の練習問題を行う。</p>
第9回	<p>【事前学修】テキスト第8章をよく読んで、統計における定義の重要性をまとめておく。</p> <p>【授業内容】定義が変わると数値も変わる</p> <p>【事後学修】提示された復習課題を実施し、LMSを通じて提出する。課題の正解は次回授業時に解説する。テキスト第8章末の練習問題を行う。</p>
第10回	<p>【事前学修】テキスト第9章をよく読んで、統計における調査対象者の選び方をまとめておく。</p> <p>【授業内容】誰に聞くかで結果は変わる</p> <p>【事後学修】提示された復習課題を実施し、LMSを通じて提出する。課題の正解は次回授業時に解説する。テキスト第9章末の練習問題を行う。</p>
第11回	<p>【事前学修】テキスト第10章をよく読んで、統計における「誤差」とは何かをまとめておく。</p> <p>【授業内容】その結果は偶然？それとも……？</p> <p>【事後学修】提示された復習課題を実施し、LMSを通じて提出する。課題の正解は次回授業時に解説する。テキスト第10章末の練習問題を行う。</p>
第12回	<p>【事前学修】テキスト第11章をよく読んで、調査における質問のしかたについてまとめておく。</p> <p>【授業内容】聞き方しただけで答えは変わる</p> <p>【事後学修】提示された復習課題を実施し、LMSを通じて提出する。課題の正解は次回授業時に解説する。テキスト第11章末の練習問題を行う。</p>
第13回	<p>【事前学修】テキスト第12章をよく読んで、統計数値を読む際に注意すべき点をまとめておく。</p> <p>【授業内容】統計の勘違いに気をつけよう (1)「数値の意味」編</p> <p>【事後学修】提示された復習課題を実施し、LMSを通じて提出する。課題の正解は次回授業時に解説する。テキスト第12章末の練習問題を行う。</p>
第14回	<p>【事前学修】テキスト第13章をよく読んで、統計を解釈する際に注意すべき点をまとめておく。</p> <p>【授業内容】統計の勘違いに気をつけよう (2)「統計の解釈」編</p> <p>【事後学修】提示された復習課題を実施し、LMSを通じて提出する。課題の正解は次回授業時に解説する。テキスト第13章末の練習問題を行う。</p>
第15回	<p>【事前学修】テキスト第14章をよく読んで、「証拠に基づいた議論」を行う際に注意すべき点をまとめておく。</p> <p>【授業内容】「証拠に基づいた議論」とはどのようなものか</p> <p>【事後学修】テキストを最初から最後までよく読み、授業全体を範囲とした「まとめの試験」の準備を行う。</p>
第16回	
第17回	
第18回	
第19回	
第20回	
第21回	
第22回	
第23回	
第24回	
第25回	
第26回	
第27回	
第28回	
第29回	
第30回	
成績評価方法・基準	<p>以下の2つの観点の合計100%で評価する。</p> <p>(1) 統計・調査に関する基礎知識の理解度：授業後にLMSで行う復習課題の結果 (56%：第1回から第14回で実施。4%×14回)、および授業期間終了後にLMSで行う「まとめの試験」(16%)。そのうち配点は、統計リテラシーの基礎知識5割、社会調査リテラシーの基礎知識5割。正解の発表はLMSで行う。具体的な評価基準は、授業時に公開する。</p> <p>(2) 統計的思考に関する興味・関心の評価：授業中にLMSで実施する課題の回答状況28%：第2回から第15回で実施：2%×14回)</p>
学修に必要な準備	<p>(1) 日頃からニュースなどをチェックして、生活や社会に関する統計データに触れておくこと。</p> <p>(2) 出された課題をきちんと行うこと。</p> <p>(3) 講義で紹介した文献を可能な限り読むこと。</p>

関連して受講することが望ましい科目	AI社会の基礎
テキスト	神林博史著『統計の読み方・考え方（第2版）』ミネルヴァ書房、2019年、4623075702
参考文献	授業の際に指定する。
履修上の注意	(1) オフィス・アワーについては開講時に指示する。 (2) 本講義は教室定員を超えた場合、授業分割をすることがあるので、そのことを了解の上、登録すること。 (3) LMSを使用するので、スマホ、PC等を用意し、予めセッティング等の準備をしておくこと。
カリキュラム中での位置付け及び教育目標との関連	この科目とディプロマ・ポリシーとの関係については、学科の「カリキュラムマップ」を参照のこと。【アクティブ・ラーニング科目】【双方向型授業】【MDASH科目（リテラシーレベル）】【メディア授業科目】 【科目ナンバリング】1C12
シラバスURLリンク1	
シラバスURLリンク2	
シラバスURLリンク3	
教室	五橋 オンデマンド授業